

白神山地

Shirakami-Sanchi

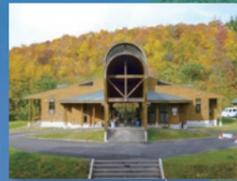
白神山地は、青森県南西部と秋田県北西部の県境にまたがる標高約 200m から 1,250m に及ぶ山岳地帯の総称です。世界自然遺産に登録されたのはこの白神山地の中心部に位置する約 17,000ha の地域で、広大で原始的なブナ林が残されています。



クマゲラ
国内のキツキの仲間では最も大きなもので、北海道と本州北部に生息。国の天然記念物。
*絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



くろくまの滝
日本の滝百選にも数えられるこの滝は落差 85m で、青森県最大級。駐車場より徒歩約 15 分。



白神の森 遊山道「くろもり館」
展示室や休憩室が備えられた総合案内休憩所。江戸時代から水田の水を確保するため、旧弘前藩の直轄林として保護されてきた「黒森」の一部が見られる散策路のスタート地点。1997 年鯉ヶ沢町設置。



津軽峠
暗門大橋から白神ラインを車で 20 分ほど登ったところにあり、遺産地域の山並みを展望できる。津軽峠から遊歩道を数百m行くと、推定樹齢約 400 年の巨木、マザーツリーを見ることができる。



白神山地ビジターセンター
白神山地のブナ林について詳しく解説されている。映像体験ホールでは巨大スクリーンで臨場感あるサウンドと映像で白神山地の四季を見ることができる。1998 年青森県設置。



ブナ林
雪の多い白神山地では、よく雪に耐えることのできるブナの純林が発達している。林床にササが多く、すらりとした灰白色のブナの幹が立ち並んだ森の様子は、東アジア地域のブナ林には見られない独特の景観。ブナは保水力が高いことや、野生動物の生息地として重要なこともよく知られている。



白神山地世界遺産センター (西目屋館)
白神山地の保全管理と調査研究のための拠点施設。白神山地の資料や写真などを展示しているほか、子どもたちを対象とした環境教育活動も行っている。1997 年環境省設置。
*裏表紙参照



岳岱自然観察教育林
ブナを主とする天然林で、森林浴に最適。林道沿いにあり、手軽に白神山地の原始的なブナ林の雰囲気を楽しむ。林内の歩道の一部にユニバーサルデザインを取り入れたウッドチップ舗装道を整備している。



ツキノワグマ
体長 120~145cm、体重 70~120kg。胸に白く三日月の模様があるのが特徴。本州に生息する最大の陸上哺乳類。雑食性だが、植物質の割合が多い。



十二湖エコ・ミュージアムセンター「湖郷館」
自然に関するハイビジョン映像やジオラマなどの展示物が見られる。遊歩道や観察小屋を使って、自然を体験することもできる。1999 年青森県設置。



十二湖
青森県側の白神山地西部に位置するブナ林に囲まれた 33 の湖沼群。江戸時代に発生した大地震による山崩れによってできたといわれている。周辺道路は冬期通行止め。



白神岳
白神山地のなかでは向白神岳に次いで 2 番目の高さを誇る (標高 1,235m)。山頂からは遺産地域と日本海を一望できる。



ニツ森
標高 1,086m の山頂からは遺産地域が一望できる。ニツ森登山道入口 (標高約 920m、駐車場、公衆トイレあり) から頂上までは 1 時間弱かかる。



暗門の滝
三段からなる滝で上から順に「一の滝」42m、「二の滝」37m、「三の滝」26m が点在し、いずれも迫力のある姿をしている。



シラガミクワガタ
「白神」の名をもつ唯一の植物で、岩場や草地に稀に生える。固有種。



フジミドリシジミ
羽表が金属光沢の美しいチョウ。幼虫がブナの葉しか食べないため、ブナ林以外で見ることができない。



アオモリマンテマ
岩場に生える多年草で、6 月頃に直径 2cm くらいの可憐な白い花を咲かせる。固有種。
*絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



イヌワシ
翼長 2m を越える大型のワシ。山岳地帯に棲息し、切り立った崖に営巣する。国の天然記念物及び国内希少野生動物種。
*絶滅危惧ⅠB 類 (EN)



白神山地世界遺産センター (藤里館)
白神山地の自然や世界遺産に関する資料を展示しており、図書コーナーや DVD を見ながら休憩できるスペースがある。自然アドバイザーが常駐し、来館者への案内、解説を行うほか、自然観察会や子どもたちを対象とした環境教育活動を行っている。1998 年環境省設置。
*裏表紙参照

世界自然遺産の登録区域

- A 地域: 厳正な保護管理を図る地域
- B 地域: 自然環境の保全を基本として利用との両立を図る地域



* 環境省版レッドリスト

絶滅危惧ⅠB 類 (EN)

近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

絶滅の危険が増大している種